京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

民團議員改選に就て

[illegible]太郎氏談

大分世間[illegible]ですが堂ですか私共も今度は輪をかたむけましたが放つたらかして置いても案外の人が出るかも知れませんしそれも信頼し得べき人でしたら何も申分はありませんがまあ今年迄は人の無もありますこと故出なければなるまいと黙つて居ります東都では競爭までして出やうといふ人は少いと思ふ議員に成るべき人の誰れ彼れにはかないませぬが現に角爲其心を以て民團の爲めに盡さうといふ人が出て貰へばよいです私共の希望としては居留地で知名な人を出して貰ひ度い第二には是迄當地の實地について分る人を出して貰ひたいのです是非自分でなければならぬとは思つて居ませぬ實西商売を離して然るべき人[illegible]ですれば[illegible]見ありませぬ龍山でも色んな人が物色されて居ますが是以て矢張り十人もといふ譯には行きますまいが多少龍山からも出さなければ公平といふことは出來ますまい選擧界の將來を想像しますればマア確實な人が出ることゝ思ひます云々

●朝鮮と宣教師

過般朝鮮漫遊の後紐育「インデペンデント」誌上に掲載の目的を以て在仙臺米國宣教師「デフオレスト」氏が執筆したる論文を其の筋より總督府に送致し來れるが其の要項左の如し

韓國の稱呼を朝鮮と改めたる事に關し米國人之を非難するものあるも朝鮮より古來全半島を指す歴史的名稱にて韓國とは元と同半島の一部を指すに過ぎざりしものなり故に此の改稱は何等愛國的感情を害するの理あるなく泰西の歴史、地理書、宣教師雜誌及新聞紙も此の新名稱を採用するを以て最も善く半島古來の傳說に適合するものなりとす

朝鮮併合問題は朝鮮に於ける基督教宣教事業をして特異の境遇に立たしめ且つ日本に於ける政治上の大問題を[illegible]しめたり其の結果日本の諸新聞紙は本年中（明治四十三年中を指す）絶わず其の事を論議して公衆の注意を喚起し特に在京城新聞通信記者の如きは之に對して容易ならざる誤解を懐き多數の讀者をして宣教師に對する偏僻心を生ぜしめたり予が當初自ら朝鮮に赴きて其の實情を視察せんと思ひ立ちしは實に之れが爲めなりし也（未完）

●有權者町名別

有權者名簿に依りて各町の勢力を算したるに左の如し

（本町一）百〇四（本町二）三十七（本町三）二十九（本町四）三十四（本町五）四十一（本町六）八十（本町七）七十九（本町八）三十一（本町九）三十七（本町十）十五（旭町一）二百十一（旭町二）百二十五（旭町三）四十一（旭町四）二十九（南山町一）八十一（南山町二）八十三（南山町三）七十二（南山町四）八（明治町一）百五十（明治町二）百〇一（明治町三）九十九（明治町）八十三（相生町）二十九（米倉町）七十六（北米倉町）四十五（長谷川町）七十三（太平町）百二十三（羽衣町）三十一（吉野町）七十七（古市町）六十四（蓬萊町）五十九（御成町）百〇八（南大門通）百〇一（倭城臺）三十九（壽町一）七十一（壽町二）三十（壽町三）四十五（日出町）八十五（大和町一）二百〇七（大和町二）百六十二（大和町三）九十二（若草町）百六十五（永樂町）百六十三（櫻井町）百八十（新町）七十七（黄金町）五十三（竹園町）三十三（花園町）七十二（初音町）五十二（西大門）三十七（獨立門）十（光化門）十六（西小門）三十（昭義門）二十五（黄橋通）十五（以上京城の分）

（綠進官台）二百六十三（本町）七十一（漢江通）五十一（京町）二十五（柳町）十四（櫻田町）十（櫻町）三十九（清水町）十六（和泉町）二十二（山下町）二十八（三坂通）十（元町）百九十（祝町）三十九（印刷局）十五（榮町）九十二（桃山町）二十一（凱旋町）二十（大島町）二十五（祝町）十四（川端町）十四（東町）二十二（老松町）三十六（以上龍山の分）

此外十名以下の各町若干あれども茲には省略す

●上海製絲と長野

長野縣諏訪郡片倉組の主腦たる片倉佐一氏は組員二名を伴ひて過般渡清し南京博覧會を見上海に數個の製絲場を視察し歸國せしが右は豫て三井合名會社經營の上海製絲場を擧げて同組に讓興せんとの交渉あり旁氏の渡清に及びたる次第にして視察の結果は頗る有望なるも唯適當な監督者を得るの困難なる點に於て首諸を躊躇し居るが如し上海製絲は十二デニールを中心とし工女賃錢は一日約二十五錢別に養方工女十三錢位にして賃錢の廉なるは最有望の點なるが如し

外事一束

●葡國 昨年葡國革命黨の組織したる假政府に對する列國の承認に就ては未だ確聞せざるも國家承認の事たる國際政略上慎重の態度を要するを以て列國の躊躇する故ある也殊に王黨の再革命畫られざる情勢に考ふれば時期未だしと謂ふべきか兎に角如此場合の國家の承認は王黨に對すると假政府に對するとの感情上政略上列國互に相譬めつゝあるに似り只向後の成行に徹せん

●露獨 政府はポツダムに於ける露獨兩帝の會見及兩宰相の此結果に就き露たる宣言の効力をアル、タン及ノー、ウレミヤが發かんとするに關し反駁して日露獨兩政府間には信認あるを以て斯る計畫は無益なりと約束常なき外交界の術策は露國をして親英策を捨て親獨策を敢てせしむ獨逸が昨年來中亞に於ける活躍振の殆んど歐州を席卷せんとするは人の知る所外交局面漸く展開せんとす

●土耳古 政府顧問たりしテスタの死亡したるより後任として黒西哥駐獨逸公使ピユンツ任せらるる筈では露國が稱を辨へたる所も遂に獨帝の一喝に辟易して土耳古に波斯に正に破竹の勢を以て進むカイゼルの略恐るべき哉獨墺伊三國同盟は變じて露を加へたる四國同盟の觀を呈し獨逸が國是たる露佛の離隔策は遂行せらるべきか外交界の謎星他日極東に現はる時活動果して如何

●獨露 關係の裏面と題し露國多年の宿題たる芬蘭沿岸防禦工事及軍港工事の第一着としてバーロタンド群島の東端に軍港工事秘密に進涉せしめつゝあるに對し獨逸は不快の念を懐き居ると謂ふ者あり夫れ或は然らん獨逸が極東に於ける利益は必ずしも露國と同じからず次に來るべき極東問題を横へて何を爲すべきか歐州に於ける獨露の提携は極東問題を犠牲とする程重要ならず

俳句

●漢陽吟社發句集（三）

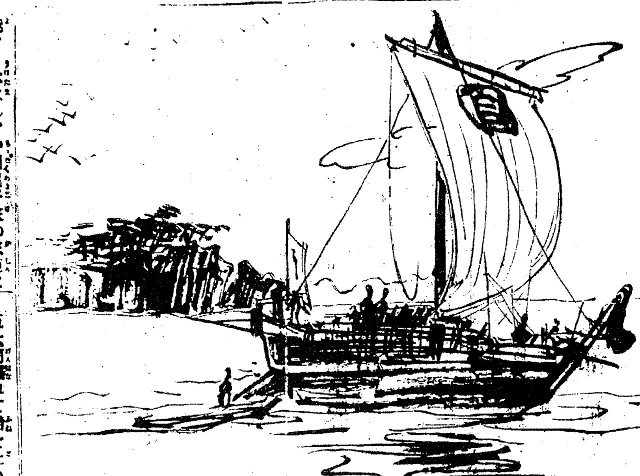
題 冬月、若菜、御慶、初雛、雜賓
花儒園主人一月五日撰

禮帽に雪は氷て御慶かな 如眠
白雪をかき分てツむ若菜かな 如春
雪分て二葉三葉つむ若菜かな 年韓
初雛や聲はいつも夢なから 如春
初雛の聲いさましう聞へけり 恩遠
瓦切て白う光るや冬の月 同人
裸木の影もの凄し冬の月 花水
里人の口上長文御慶哉 如客
颪て北海くらし冬の月 同人
冬の月十戸の里の寄寝かな 同人
水音のかれてさびし冬の月 朝松
打返す波の光るや冬の月 其月
穢の見に籠を擁せて若菜つみ 鈍蝶
冬の月捨て在所の宵寝かな 悟竹
川底の石も光るや冬の月 一考
初雛や宵のまゝなる小提燈 半鋒
軒先の氷柱長し冬の月 悟竹
柏手木の谺返すや冬の月 半韓
假橋の下駄音高し冬の月 如眠
一擺ゝ殺にはつまぬ若菜かな 半韓
城跡に狐鳴けり冬の月 寶蝶
家々の嘉例も見ゆる雜煮かな 筑業
初鷄やまた人なる切れぬ市 悟竹
去年よりも雜煮ゆる雜煮哉 都天女
梅一枝先に挿して御慶かな 米水
若菜つむたもとを雪に汚しけり 福女

山中鹿之助 第五十五回

西尾麟慶演

九「ウ、然らば汝は我夫鹿之助殿の家來とか……夫が何故あつて海賊となつたるぞ」と問つめまする此時兵庫之助 兵「神せは主縁元もには候へども去年の秋播磨波路より此の播磨洞に至り四國へ越さんと思ふ折から海賊の船とは知らず此船に乘せられ沖合に出て船に居て指圖をいたし下されたしと乞はれまして、巳ひを得ず此の船に止まり、彼等我旅錢を奪はんとせしを猿本荒浪金藤太と云ふもの並びに小賊廿五六人を切すてたるに殘りの者は悉く降參を致し、我を首領と致すべきより、此の悪慾無慈悲の者の財物を奪つて、今日まで心ならずも居りました處、計らずも奥方にれ目通りを致しまして誠に面目も御座ひませぬ」と云ふを聞ひたれ九重姫は大きに安心を遊ばされまして、然るに此方は大谷古猪之助は宿屋へ立戻つて見ますると古葛龍は御座ひませんから、夫はでは賊共が持て往たか知らんと亭主に遇て、賊は大江山から來たのか他所より來たのかと問ふに 亭「左様で御座ひます、彼等は明石の荒浪金藤太と云ふ海賊の手下だそうで御座ひます」古「ム、左様か、然らば未だ船が沖に繋いであるだらう、早く其船へ乘込んで海賊共を切殺し、奪ひ返さねばならん品がある……」亭「ヘエ旦那様、れ嗣さんが幾ら強くても向ふは大勢で御座ひますから止しなさい、命にかゝはります、私杯は口まで跳けられまして、餘程の物を持てゆかれましたが、何うも仕方が御座ひません 古「れ前は船が漕るか 亭「夫は漕事は濱邊に生れたのでありますから、漕げますが何うなさる 古「夫は幸ひだ早く何れへか參つて船を一艘借て來て海賊の船へ漕ぎつけてくれ、れ前の取られた品物も何にも皆な取返して來るから……大丈夫だ、五十六十の小賊ども鏖殺にしてやるから」と夫より宿屋の亭主が濱邊へ出まして船を一艘借り、古猪之助を乘せてギイ／＼と沖に繋いである海賊の舟へ乘り付けました、古猪之助は船に着か否や身を躍らして本船へ飛び上り大音をあげ 古「ヤア／＼海賊ども能ツく承はれ、中國尼子家の家臣にして山中鹿之助殿の其家來、大谷古猪之助と云へる大剛の男士、今此處に來り天に代つて誅伐いたす、一人は面倒なり一同にかゝつて勇士が刃の錆となれ」と呼ばつたり、船中の小賊ども大ひに驚きました、兵庫之助は之を見るや 兵「アイヤ暫く／＼、山中樣の家臣とあれば語り申さん仔細あり先づ／＼是へ」と云ふ古猪之助は合點ゆかじと刀を提げ 古「ヤア海賊より話しを聞くべき謂れなし、我を欺き討んと爲すか 兵「其の御不審御尤もなり、然らば兩腰を御渡し申す間御待ち下されたし」と兩刀をガラリと夫れへ投げ出す 兵「何うかれ刀を鞘にれ納め下さい」と云へば古猪之助も刀を鞘に納めまして、八方に眼を配りながら兵庫之助の傍へ進んで參ります 兵「アイヤ大谷氏、某も嗣じ山中鹿之助樣の家臣となつた横道兵庫之助と申する者で御座る、疑ひあらば是を御覽せられよ」と肌身に附て居りました割符を出して見せましたるに、古猪之助割符を見るに自分の割符と同じでありますから始めて疑ひ解け、兵庫之助が投出せし兩刀を返して、互ひに席を讓りあいまして、今までの事を兩人話しあつて居ります、



と五六間離れて船を止めて置きましたる宿屋の主人は、モウ切合が始まりさうなものだと思つて居りましたに、何台何んの音もないから不思議に思つて居ると、何んだか古猪之助の賊の頭と話しをいたして居る樣子、宿屋の主人は呆れて居りましたが、段々と古猪之助が話をいたしまして宿屋の品物は殘らず返して遣りました、夫より小船を出しまして浮舟といいからみの兩人を連れて參りました、久し振りにて浮舟が夫横道兵庫之助に面會を致しまして、互ひに是迄のありし事どもを物語りましたが、兵庫之助も古猪之助の厚意を謝しました、兵「是より九重姫を守護致して播州上月城に至り山中鹿之助に面會致すと云ふ、夫は次回より追々申上げます……

東京電報（十二日着）

●**皇后陛下御避寒** 皇后陛下には本日より沼津の御用邸に御避寒遊ばさる

●**樺太巡啓奏請** 在樺太の日本人は今夏東宮殿下の北海道御巡啓の折り樺太へも御巡啓あらせらるゝことを奏請中なり

●**全院委員會** 今期議會に於て一切の委員會を閉鎖せらるゝに伴ひ各種重要なる法律案其他の事件の審議の爲め全院委員會を開くべく其時期は首相の施政方針演說ありたる後に於て議員の動議に依りて直に全院委員會を開く事に内定せり

●**英照太后例祭** 十一日の英照皇太后例祭には皇后陛下の御代拜として香川皇后宮大夫參拜し宮內省高等官の參拜ありたり

●**御歌詠進數** 新年宮中御歌會の詠進歌は二萬三千餘首にて昨年より約千首を増加せり

●**中等教育檢定試驗** 文部省にては來る二月十六日より約十日間に亘り師範學校中學校高等女學校教員檢定試驗を施行すべし

●**韓銀の株主總會** 韓國銀行は來る二月廿四日午後一時より坂本町銀行集會所に於て定時株主總會を開く由

●**現行藥局法改正** 內務省にては現行の藥局法は不完全なる點多きを以て之が改正案を起草中なり

●**上旬の貿易額** 本月上旬に於ける外國貿易額は輸出七百二十六萬九千圓にして輸入八百五十五萬圓なり

●**九州水力發起人會** 日比谷[illegible]に於て九州水力電氣株式會社發起人會を開き[illegible]

●**大清銀行の變更** 清國度支部は大清銀行を[illegible]する事に決定したり

●**澳國の新内閣** 澳國新内閣は[illegible]内閣を組織したる旨維也納より公電あり

●**土耳古と大使館** 土耳古政府は日本に大使館を置く由なり

●**戰鬪艦起工** 本年內に日本內地に於て大型戰艦二三隻起工さるべし

●**渡英艦隊指揮官** 英皇陛下戴冠式に派遣する我が艦隊の指揮官は海軍中將島村速雄氏なるべし

雜報

●**總督の實業家招待** 寺內總督には十二日午後六時より宇佐川東拓總裁、古城民長、和田商業會議所會頭其他當地實業家數十名を官邸に招宴せり

●**總督の慰勞寄贈** 客臘豆滿江を巡視したる際沿道憲兵警察官に對し夫々分に應じて慰勞品を寄贈したり

●**防疫設備打合** 滿洲にペスト流行せることは既報の如くなるが當局に於ては新義州及其他地方に於ける防疫設備の必要を認め警務總監部囑託を十二日仁川に赴かしめ打合せをなさしめ且直ちに新義州へ出張せしめ同地に於ける防疫設備を爲す由

●**農業技術官會議** 十二日午前十時より元農商工部礦務課跡に於て農業技術官會議を開きたるが列席したる者は農商工部側よりは殖產局長中村氏、原島技師、大塚書記官及地方技手等にして地方側よりは各道勸業模範場長及び各道技師技手等なりしが右技術官會議の爲め寺內總督を訪ひ一場の訓示を受け左の事項の諮問あり

（一）米穀の乾燥調製改良の成績及び將來の改良方針（二）從來配布したる種牛等畜產に關して（三）改良の成績及び將來（四）各地風土及び農業上研究の結果（五）灌漑整理の實況（六）水田二毛作の成績（七）各地の風土及農家經營に付研究の結果（八）米麥大豆等の主要作物に關する栽培の成績（九）棉作の成績及栽培すべき地方の選定（十）各地風土に適應する蠶種及桑苗の種類（十一）朝鮮特種農產物（棉花、甜菜、柞蠶等）に關する實況（十二）從來配布せる種牡牛飼育保護の現況（十三）果樹栽培獎勵の成績（十四）未墾地開墾の實驗（十五）農家に於て副林業に冬期屋內業として適應なる手工の調查（十六）內地移住民農業經營の狀態

等の十六項なるが來る十六日を以て全部終了する見込なれども都合に依りては一兩日延引さるるやも知れずといへり

●**在滿日本人數** 最近調查在滿各領事館管內の戶口左の如し

	戶數	男	女
牛莊領事館	五九七	一、〇四	九六七
遼陽領事館	二〇〇	一四三	一三六
奉天領事館	五三一	一、〇六八	八五一
鐵嶺領事館	六六七	一、一七〇	一、〇二五
長春領事館	一八一	二六〇	三三七
安東縣領事館	一、六九五	三、三二一	二、六〇四
合計	三、七二一	六、九二六	五、八〇四
人口合計			三、七三〇

以上の外朝鮮人三十九戶男二百六人女三十一人と外國人七戶男七人女三人と清國人六百七十一戶男二千七百八十八人女五百九十八人なりと

●**豆滿江岸の鮮人** 豆滿江沿岸鹿洞に於ける朝鮮人の情況に就いて聞くに同地に於ける朝鮮人の戶口は戶數二百四十餘人口千餘名あり彼等は主として農業に從事せるが曩に各地方に授產金下賜の報傳はるや非常に悅び從來多少排日思想を有し居たる者も新政を謳歌するに至りたる由

漢城銀行增資

漢城銀行は來る十五日臨時總會を召集して一大增資計劃を付議すべしとは既報の如くなるが右は目下京城財界の一問題にして其の可否方法に就ては大に注意を要すべきものなり今各方面に糺し其眞相を報道せんに

▲**計畫の動機** 世人の知悉する如く同行は公稱資本金三十萬圓拂込七万五千圓及政府貸下金十万圓にて經營せる一私立銀行なり而して其專務取締役韓相龍氏は朝鮮人中稀有の才物なるが夙に同行の發展を策し李完用李允用韓昌洙氏との親族關係あるを幸ひに彼等を說き昨秋新貴族其他に下賜せられたる恩賜公債を利用して此際大に同行の增資を計り以て成功を期せんと欲し日本に於る十五銀行の例を引き朝鮮にも亦貴族銀行の設けなかるべからずとて之を慫慂せしに李完用氏は一圖に韓氏の言を可とし其勢力を藉さん事を約して自から各貴族を遊說して遂に新計劃を成立せしめ機正さに熟せりとして茲に發表を見るに到れり

▲**增資の方法** 今茲に其が增資方法なるものを見るに現在は一株五十圓總株數六千株此拂込一株十二圓五十錢に就き總額七萬五千圓なるが之を六十萬圓に增資し同時に更に三百万圓の大銀行に增資せんといふにあり而して同行には目下七万八千圓の積立金あるを以て此內七萬五千圓を現在株主に配當し之に依りて新拂込を爲さしめ而して六十萬圓資本の四分の一拂込の形式を完備する筈なり是れ既に變則の方法なるに同日更に二百四十萬圓の增資を付議し茲に豫定の三百萬圓案を遂行せんとす思ふに現行會社令に依れば資本の全部拂込を了せざれば增資は不可能の規定あり然るに彼等計劃者の言明する處によれば既に當該官憲の認可を得たりと稱す果して然らば會社令を無視する特別の認可にして惡例を將來に貽すものなり若し又然らずとせば勅令の改正或は特別の制令出でざるべからず其何れの處置も發布せられざる以上は認可云々は虛構の言說にして何か爲めにする處ありて然るものなるべし

▲**勸誘の手段** 今其新株募集に關する手段を見るに頗る怪訝に堪へざるものあり則ち勸誘を受けしものは孰れも恩賜公債を所持せる新貴族其他の人々なるが該公債の賣買讓渡不自由なるより之が活路を開くべく說き曰く之を自己の銀行に托し株金の拂込に充用すれば彼の賣買讓渡禁止令を變じて現金に換へたるに均しく而して之を株券とすれば年八朱の配當を爲すべきを以て公債所持に比すれば結局三朱の餘利ありとて理財の能力欠如たる新貴族等を釣り込めるものなり現に此甘言に乘りて既に株式引受の申込書に調印したる者數多ありと聞く

▲**新定款骨子** 而て同行理事者が將に提出せんとする新定款なる者を見に朝鮮人以外一切株主たるを許さず又株式を甲乙二種に別ち甲種は新株とし乙種は舊株とせり而して朝鮮人以外と稱するは日本人を指せるものなるべきが選は孰れにても可なり唯だ不思議とすべきは乙種舊株則ち六十万圓に對する分は賣買讓渡及質權の設定を爲し得べきも甲種の新株は十箇年間之を許さずといへる規定是なり是れ定款の特定骨子とも言はゞ言ひ得べし

▲**無利子貸下金** 始め同行に對し目賀田顧問時代に於て救濟資金の目的の下に度支部より無利子の特典を以て貸下あるもの現に十万圓あり今若し彼等の計劃の如く三百萬圓の大銀行に發展する以上は必ずや度支部は之が返還を命ずべく又命令なくも返納して其面目を保たざるべからず

▲**八朱の配當** 然るに敍上の如く彼等增資計劃者は新株募集の口實として八朱の配當を爲すべきを言ひつゝあり思ふに現在に於てすら當地銀行は既に過多の傾向ありて經營の困難名狀すべからず試みに朝鮮側各銀行中特に漢城銀行に見よ漸やく十萬圓の政府貸下の無利息資本金を運轉して從來拂込に對する一割乃至一割五分を配當し得たるに非らずや則ち十七萬五千圓に對する利益を七萬五千圓に配當せるに過ぎず此無利子貸下の特典なかりせば如何謂つて之を增資後に見るに三百萬圓の四分の一拂込七十五萬圓に對し彼等の言明せる年八朱の配當を爲さんと欲せば六萬圓を要す此配當を爲さんには年二割の總益金を擧げ此內より營業費積立金賞與金等を控除したる餘裕ならざるべからずだ是れ果して朝鮮銀行の可能問題なるや否やは識者を待たで知るべきなり

▲**計劃遂に頓挫** 斯かる狀態なれば始め韓相龍氏の甘言巧辯に弄せられて或は遊說し或は勸募せる人々中には今更の如く覺醒し計算上公債は五分の低利なるも其安固や同日の談に非ず若し增資後の漢城銀行にして豫定の如く利益あらば兎に角完全に其保障立たざる以上は徒らに危險地に踏み入るの類なりとて李完用韓昌洙を始めとして應募を中止せる者續出するに到れり要するに同行の計劃せる突飛の增資案は大に注意を要すべき事に屬し第一當局者が斯かる違法の增資計書を認可したるや否や第二總督府が恩賜公債を以て同行の增資株に拂込むを許すや否や第三從來の無利子貸下金は今後果して存續すべきや否や第四彼等の豫定する如く確實に八朱の配當可能を見るべきや否や第五朝鮮人現在の能力にて斯かる大銀行の經營に堪ゆべきや否や第六現在京城の金融界は突然斯かる大銀行の現出を見るも何等影響を受けざるや否數へ來れば幾多の疑問惹起するの感あり若し夫れ從來は朝鮮人面の經濟は日本人に及ぼせる影響甚だ微弱なりしも既に併合と共に經濟的共通を現實せる今日同行道般の計劃に對しては日本人側に於ても特に注意を拂ひ其成行を觀望するの要あり

●**滿洲紙業の有望** 南滿洲に於ける紙業は前途甚だ有望にして我製紙業者の發展すべき餘地少なからず現在の輸入高は營口よりするもの三十八万六千兩大連よりするもの三十二萬五千餘兩、安東縣一萬六千兩なり而して南滿洲各地の製紙所に於て製出する量額は約五十万疋價格約百万圓にして其種類は毛頭、双線、呈文、三五三八、小紙、双紗、大別黃、洋藍なるが若し我製紙業者にして其需要に應ずる品を製出販賣するに於ては我一大顧客たるに至るべしと云ふ

●**大西軍醫部長視察** 大西軍醫部長は臨時派遣隊、鎭海灣重砲兵隊の衛生事務に關する查閱並びに視察の爲め大邱、馬山、釜山各方面に十二日出發せり

●**藤本二等軍醫出張** 藤本二等軍醫は大西軍醫部長に隨行し十二日出發

●**武田少將退城** 入京中なりし鎭海灣防備隊司令官海軍少將武田秀雄氏は十一日退城釜山に向へり

●**廣島縣人會** 在京龍の廣島縣人は十三日午後六時より壽町井門樓に於て秋山法學博士の歡を迎會兼ねて盛なる新年宴會を開催すべしと

●**伊藤源三氏の葬儀** 朝鮮總督府囑託伊藤源三氏の葬儀は十二日午後二時南山本願寺に於て執行したるが各部高等官其他多數の會葬者あり盛儀なりき

●**豐永博士入城** 農學博士豐永眞里氏は技術官會議列席の爲め十一日入城せり

選擧界の表裏

▲**曾川氏と東部** 曾川廣濟氏に對し候補者として其消息を聞かざりし曾川廣濟氏に對し過日の西部豫選會有志より候補承諾方を交涉せしに氏は其厚意を謝し折角の御配慮なるも之に應じ能はざるを遺憾とする旨回答し來れり聞く處によれば氏は市區改正問題を提げて東部に羽翼を張り既に同部より出馬する事に內定し居る爲めなりしと

▲**西部の補缺候補** 西部は既報の如く七名の候補者を確定せしが他の三名に就ては今明日中に再び有權者を會合して協議を重ぬる筈なり然るに未だ意中の人物を發見する能はず今更選良の困難なるを覺ゆと有權者の某氏は喞ち居れり

民團議員豫選投票

（十一日締切迄着票通計）

氏名	票數
中島司馬之助	六百五十一票
山口太兵衛	六百十七票
三好和三郎	六百八票
釘本藤次郎	六百四票
和田常市	六百一票
森勝次	五百八十七票
關繁太郎	五百七十六票
松永達二郎	五百三十六票
曾我勉	五百二十八票
皆川廣濟	五百十票
池田長兵衛	五百三票
石井新	五百票
林田金次郎	四百九十七票
增田三穗	四百九十五票
大村百藏	四百二十票
田村義二郎	四百十三票
伊藤友松	三百八十票
原勝一	三百七十四票
進辰馬	三百七十二票
小林藤右衛門	三百七十票
松浦源治	三百四十三票
池田長次郎	三百三十八票
深水清	三百三十二票
兼古禮藏	三百二十九票
阪敬明	二百九十六票
大橋清三郎	二百九十一票
白木爲次郎	二百五十三票
大坪文吉	二百五十票
佐々正之	二百三十七票
國井泉	二百十二票
佐野彦藏	二百十票
渡邊與三郎	百七十四票
益永十作	百六十九票
海津三雄	百六十二票
小川勝平	百三十四票
古迫角次郎	百二十六票
山下新太郎	百二十一票

三十五票鹽見榮五郎　五票佐々木四方志　五票中島貞信　四票寺田嘉六　二票宮田守蕃

注意

前號に發表せし得點者にて其儘なるものは本日の表に加へず尚本日よりは一百點以下の得點は新候補者以外は不掲載

相場電報

（明治町西村支店着電）

▲**大阪株式（十一日）**

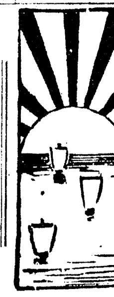
		（前場）	（後場）
神戶電鐵	引寄	三八、三〇〇	三八、三〇〇
京阪電鐵	同	三八、三〇〇	三八、五〇〇
鐘淵紡績	同	六一、六〇〇	六一、六〇〇
同	同	六一、七〇〇	六一、七〇〇
日本郵船	同	一〇六、二〇〇	一〇六、四〇〇
同	同	（出來不申）	一〇六、四〇〇
東京株新	同	九七、五〇〇	出來不申
同	同	（出來不申）	
大阪株式	同	一二三、五〇〇	一二三、五〇〇
同	同	一二三、〇〇〇	一二三、二〇〇
同直	同	一三三、八〇〇	一三六、五〇〇
取引	同	一三三、七〇〇	一三五、七〇〇
同	同	一三三、九〇〇	一三三、九〇〇
同	同	一三四、一〇〇	一三四、二〇〇

▲**大阪期米** ●十一日前場 一月止十四圓三十七錢▲二月止六十八錢▲三月止七十八錢▲後場 一月寄十四圓三十七錢▲止三十錢 二月寄六十八錢▲止七十錢▲三月寄七十七錢▲止八十錢 ●十二日前場 一月寄十四圓四十錢▲二月寄六十九錢▲三月寄七十八錢

▲**仁川米豆取引** ●十一日後場 二月出來不申▲三月十四圓四十四錢▲最高四十四錢▲止三十七錢 ●十二日前場 一月出來不申▲三月十五錢▲止二十九錢▲最高四十四錢▲最低三十九錢

▲**京釜鐵道の營業**（十一日）▲南大門驛乘降客 乘車客 六二八 下車 乘車賃金 一九二〇、八〇 ▲南大門驛荷扱高 發送 到着 貨物賃金 五一四、六八 ▲龍山驛の乘降客 乘車客 一九三 下車 乘車賃金 二九六、四七 ▲龍山驛の荷扱高 發送 三四噸 到着 貨物賃金 六一、一二

▲**治外法權**▼ 寺內總督は[illegible]日歸京の由、何がサテ議會[illegible]云ひれ忙しい時だ、併し議[illegible]には議會花も咲く、ドウカ[illegible]任されてユツタリ、なまるが[illegible]と云へば今期議會で總督の[illegible]ねばならぬ事が澱らもある[illegible]重要なものは朝鮮豫算の通[illegible]にして經費通過せんか其他[illegible]るに足らずだ▲地方經費[illegible]新設地方開發上重要の關係[illegible]な事だ、聞く寺內總督は[illegible]りと、果して而らば總督は[illegible]手段を講したるものだ▲[illegible]議の書換を如何にすべきか[illegible]題であつた、併し物の[illegible]記者の主張の如く持主の[illegible]名義書換を認可することに[illegible]義書換、語を換へて云へば[illegible]渡を許したのであるのだ、[illegible]恩賜公債の所持者は實を[illegible]せぬを歎ずるの要がなく[illegible]銀行は來る二月二十四日[illegible]開き重役會決定の六分配[illegible]るソウだ、六分の配當、[illegible]りだ、コレで同行の株が[illegible]ら結構な事だ▲昨本紙の[illegible]價の事を書いたが、右は[illegible]噓の模だ、興銀側否定し[illegible]だ東拓社債賣出しの依託[illegible]託の交涉を受けずと▲此[illegible]金の分拆所が三ケ所ある[illegible]買は破れた、五十萬圓の[illegible]入資金を有して小分拆所[illegible]はれ手柄な事だ▲民團議[illegible]が日一日と熾んになるの[illegible]▲記者の希望を云へば此[illegible]居さして成べく多くの新[illegible]いものだ▲議員候補者中[illegible]袁世凱との關係がドウと[illegible]頻々來る、梅溪たる者[illegible]ば須らく袁との關係を明[illegible]



活動寫眞 裏面手

十一日 夜の南大門驛

雪は止んで月は暮れた、静かな冬の空に月は冴へて寒い、龍山よりの歸途、電車を驛前に乗り捨てゝ構内に入る、時しも午後七時五十分仁川行列車は正に發せんとする、欄に倚りて試みに乗客數を驗せば、僅々十有九人であつた

手荷物扱所には **門司行團体** の行李三十個預け濟みとなつて積み重ねてある、傍らに一個の菰包があつて小井里驛止清水龜三郎様行、差出人京城阪治町北村靴店價格三十三圓二十五錢と認めてある。

東京伊太利大使館附武官、ガピタリア大佐行の木箱は、差出人京城長谷川町 **伊太利物産會社** チリオロ出と書して人の目に立つ、午後八時四十分、釜山よりの列車は到着した。

三井物産の **ゴム輪の人車** は夫妻の洋人を導き、ソンタクホテルの若者と共に去つた。

時辰は進んだ、寂寞たりし各室は人を以て充たされた、釜山港町原田と記した行李や夜具包を預けんとした、男は鷄卵苞をも托せんとして拒絶された、一等室には、京城鐘路通り洋服商 **濱吉太郎** との名刺を挿んだカバン三個を搬び入れた、ヨボの擔ひ來た行李には、東海道線穂積驛、廣瀨元嗣殿行、京城水門洞廣瀨出である更に。

大阪市南區順慶町四丁目 菊水亭事 田中豊子

その人か、非か、知る人ぞ知らん、年齢二十有五六 **一番形の大丸髷**、縞御召のコートに空氣草履、見送人五六と共に儼然と入り來た一美人がある。

虚榮の權化 たる其スタイルを見よ **金縁の黒眼鏡に金の入齒**、腕鎖に飾した **左手には三個右手には一個のゴールドリング**、燦爛として電燈に輝き、紅粉を施せる臉は媚を含んで艶更に艶なりだ。

彼女は二十五圓を托し **青切符を** 購はしめた、大坂——由來、美人、多しだ……

●午後十時三十五分、新義州よりの列車は着し **山本旅館** の小僧は **高橋陸軍大尉** を迎へて去つた。

●同十時五十分、釜山行列車は數多き人を拉して發車した。靜かに驛を出づれば、小夜更けて、高い低い家が並んだ曲線の街區を、月も凍らむ寒さに戰きつゝ歸つた。

産婆會の難産

▽堀越さんの會長氣取

京城市内に四十餘名の産婆ありて昨年理事廳時代に産婆會を組織せしが會則は數十ケ條に渉り居るも該會組織せられし以來會則を遵守する者なく有名無實なるも當局者は社會に弊害なきこととて其の儘等閑に付しありしが其の後理事廳廢せられ理事廳當時の諸營業規則は警務總監部に於て或は改正或は新に發布せられしも産婆規則は未だ何たる沙汰なきにぞ從來の規則に因る可しと思ふ者もあり或は新に發布せらる可しと思ふ者もあり开は兎に角産婆會則に基き例會と爲し己れ會長とならんとの野心を包藏するもあり夫れがあらぬか四十三年十二月廿三日付にて本町一丁目裏通り産婆會員堀越なは子は各産婆に宛て左の如き通知狀を發したり

前略御免被下度候愈々御清榮奉賀候陳者早速なから本年三月理事廳の許可を蒙り産婆會未だ何の運び付申さず其儘相成居候處愈明年一月早々發會式を行ひ次に列會等も取りいそぎ度く色々御相談有之候間明二十四日午後六時自宅に御出下され度候若し御出席なき時は相談上に付御異議なき者と認められ候間可然御承知被下度可成御入來願入候

然るに之れを請取りたる會員の多くは堀越なは子が潜越を憤り一二名を除きたる他の三十餘名は出席せず目下盛んにゴタゴタして居るが此れは必竟會長が定つて居らぬからなり

●朝鮮式強盜

朝鮮人側に多く有り勝ちの強盜にて被害者は後難を恐れ屆出でぬが西部仁達坊北門洞十八統七戸兩班理髪業洪慶喜（三十）に對し昨年九月以來屢々自分は愛國民の一人にて六十餘名の部下を有する者にして國の爲め夫々成る方法を講ぜんと準備中なるも運動費に困り居るに付金二千圓調金貸與し呉れ出來ざれば相當の考ありと脅迫狀を數回出したるより洪慶喜は後難を恐れ調金す可しと回答せしに本月八日北部玉洞に持參す可しと書面來りしを西部署刑事探知し犯人捜査に從事中西部仁達坊弼雲洞七十五統三戸居住東亞煙草會社職工范舜圭（二十）の所爲なる事判明せしより逮捕せりと

●大清銀行 廿萬圓の紛失

北京大清銀行の店員某ての程行衛不明となりしが怪しむべき點尠からざるため同銀行にては直ちに帳簿及び金庫の檢査を行ひしに現金及び貸替簿の帳尻等にて合計二十餘萬圓紛失しれることぞ

發見し大狼狽を極めしが同行にては尙は此の事を秘密に附し内々其の筋に密訴して逃亡者の行衛を嚴探中なる由なるが未だ何等の手がゝりを得ざる由

●少年の銃器密賣

南部小山林洞三十統十戸李貴成（一六）は東亞煙草會社に出勤中なるが年少作ら無賴の青年と交際するより其筋にて注意中の處此の頃銃器及彈藥を密賣隱匿なし居る事第一憲兵分隊中上特務探知し引致目下取調中なりとは不埒なる少年かな

●詐欺横領懲戒刑

三重縣一志郡中川村二十五番地當時住所不定田川庄三郎（三六）の横領詐欺事件は十二日京城地方裁判所に於て懲役四ケ月に處せらる

●樂聲會素謠例會

當地樂聲會にては來十五日午前九時より淵町二丁目大韓寺に於て新年宴會を兼素謠會を開催する由定て盛會なるべし其番組左の如し

▲老松 秋本氏、梅田氏、安田氏
▲大佛供養 芦澤、鹽見、二宮、横松、光井氏
▲二人靜 中島氏、安田氏、大林氏
▲山姥 成瀨氏、秋本氏、岩田氏
▲鉢の木 岩田氏、吉田氏、富川氏
▲皮成忠則 二宮氏、大林氏、多田氏
▲鹽見氏
▲富士太鼓 横橋夫人山口夫人梅田氏
▲祝言竹生島 芦澤氏、横橋氏、吉田氏
▲仕舞 岩田氏
獨吟勝手次第

廓のうはさ

不景氣勝ちなりし新町遊廓も猪の年に入りてより緣起よく非常の好景氣にて廓内一同喜色滿面去る七日各樓主の新年宴會を催し候▲曩きに廢業せる南山樓の跡を食道樂にて經營する事に相成り名も春日樓は如何なる理由か非常の繁榮に候▲廓内にて兎角の評ありし高島屋は廢業してポチレン得意のれ榮を初め金剛樓に住替せし模樣に候▲大桝屋は妓の稼高に對する歩分け他樓の半額其他種々の事情より妓は不滿を抱き居り殊に仲居が不親切なれば改革を要す然らざれば秘密漏れ三面子の厄介になるべしとは廓雀の注告に候▲同樓の笹波は若草町の某用達商人と本町の某高樓との競爭にて何れを捨るが是か非か忠ならんと欲せば孝ならずドウしやうぞいないと煩悶中なりとは氣の毒な事はチットも御座なく候▲同樓の松葉は正月三日の戰爭劇しかりし爲め戰闘力を失ひ四日より衛戍病院に入院せしが近く退院して戰線に加はる由に候▲玉家の米駒は例のダイナマイト以來客が恐ろしくなりヒステリーを起す事屢々の由に候▲井門樓支店の富士枝は此の頃旭町の待合仕の家に屢々出入するが理由は墨覺三面子の厄介ならんと存じ候▲同樓の短銃濱次は調査局の某技師を手玉に取りゴロゴロ咽を鳴らして居る所恰もドラ猫が炭團にジャレてる格に御座候（廓雀）

●演藝だより

●壽座 同座十三日の替り狂言は前狂言三國港三人新兵衛大序より大詰迄中狂言音聞粟津原巴御前飯焚の場切狂言玉藻前三段還春館の段なり

●浪花館 東京落語音曲手踊米枝一座にて木戸錢場代共二十錢均一なり

▲平民文壇▼

▲玉突の心得有る者ボーイとして傭入れ度し委細來談あれ（大和町一大和倶樂部）▲御面倒樣ですが歌留多會の催會やそれから會は何町何番に在りますか御教示下さい（新渡鮮歌留多狂）▲貴本家を求め度し三百圓位ひの金にて確實の實業在り希望の方は當欄まで（一實業家）▲過日貴紙上にて獨語出教授ある由に候が住所は何處にや御通知下さい（本町二石田病院内石田生）▲永樂町交番のひげ巡査部長よ人民に對して注意を促す言語が癪に障る元來が生意氣で丸で囚人に云ふ樣な語だ君の如き巡査は無用の廢物だよそれに反して本町擔當の東郷部長は實に見上げた者だ（官吏）▲龍山本町三丁目のあやめ團子や汁粉は實に美味我黨をして七月連根となす此家に一室でも有らんかそれは〳〵（甘黨袋）▲七月連根とはドンナ譯ですか（小僧）▲貴社民團議員豫選投票は此頃奇拔な御考也然し我が龍山には悲しい哉名士人物に乏しいア、（悲觀生）▲元は龍山桃山遊廓日曜樓の娼妓〇〇は目下色男たるさる請負師の外妾として船板塀に見越しの松とは行かないけれども紀の國屋の或る一室にて白桐の箪笥を眺めつゝ去る年は莫迦な亞呆鳥や卵無き者を手玉に取りしがと回顧しつゝある影山きよさんの消息が聞きたい（元縣會議員）▲露たち女史君よ非常御手合せを願ひたい君の宿所氏名を聞き度い本欄まで（京城のちやん）▲矢張り正月か近頃新町の女郎共が夜間外出するそうだ待合行きも見掛ける交番の巡査さんは一体ドウしたんだい（燒餅）▲日當りとながめ至極よく出入に便且つ水道も在る六疊の貸し間あり子供のないれ方に貸したし望の方は（明治町一ノ百十荒川方）

十日の京城日報及一月發行朝鮮の廣告欄内大院君傳著者肩書を朝鮮新聞社長とせしは朝鮮通信社長の誤りにつき此に正誤す

京城本町二丁目 日韓書房

日の運勢

一月十三日 舊十二月十三日 ●二黑癸未赤口破△白●新

●事旅行見合せの事情義に馳せて後果を貽す勿れ△二黑●諸事手控への事遺失及酒色の害を戒しむ△三碧 不如意の事多し尙貸借金品授受間違故障あり酒色の害を戒む△四綠 金品授受貸借證券の故障起らん不和紛爭防ぐべし△五黃 婚談共同組合協約に吉保證受印裏書を禁ず△六白 快欣の日大抵吉部下雇人の事注意すべし△七赤 利得便宜有る日なり業務上進んで吉婚談其他子孫の事に懇む△八白 改革決算整理移轉模樣變更に吉遺失防ぐべし△九紫 談議協定修好婚談示談中裁に吉衛生負傷注意すべし

朝鮮總督府囑託伊藤源三葬送の際は態々御會葬を辱し奉深謝候乍略儀以紙上御禮申上候 敬具

一月十二日

親戚 水谷新藏 中村光子

總代 西山貞幹